

7.3 区間推定 (P.113)

4つの区間推定

1. 母平均 μ の区間推定

(a) 正規母集団の場合

- ・ 母分散が既知
- ・ 母分散が未知

(b) 正規母集団でない場合 (大標本, すなわち, n が大きいとき)

- ・ 母分散が既知
- ・ 母分散が未知

2. 母分散 σ^2 の区間推定 (正規母集団の場合) *** 時間に余裕がなければ省略 ***

3. 母比率の区間推定

7.3.1 平均の区間推定 (正規母集団, 母分散が既知, P.113)

母分散 σ^2 が既知と仮定する。

⇒ σ^2 を推定する必要なし。

⇒ 正規分布の利用

大きさ n の無作為標本 X_1, X_2, \dots, X_n

すべての $i = 1, 2, \dots, n$ について, $X_i \sim N(\mu, \sigma^2)$, しかも, 互いに独立と仮定する。

このとき,

$$\bar{X} \sim N\left(\mu, \frac{\sigma^2}{n}\right)$$

したがって, 標準化によって,

$$Z = \frac{\bar{X} - \mu}{\sigma / \sqrt{n}} \sim N(0, 1)$$

となる。

標準正規分布表 (P.251) から, α を与えたもとで,

$$P(|Z| < z_{\alpha/2}) = 1 - \alpha$$

となる $z_{\alpha/2}$ の値を見つける。

例：

$\alpha = 0.05$ のとき，

$P(|Z| < 1.960) = 0.95$ により， $z_{\alpha/2} = 1.960$

$\alpha = 0.10$ のとき，

$P(|Z| < 1.645) = 0.90$ により， $z_{\alpha/2} = 1.645$

$$P(|Z| < z_{\alpha/2}) = 1 - \alpha$$

$$P\left(\left|\frac{\bar{X} - \mu}{\sigma / \sqrt{n}}\right| < z_{\alpha/2}\right) = 1 - \alpha$$

$$P\left(\bar{X} - z_{\alpha/2} \frac{\sigma}{\sqrt{n}} < \mu < \bar{X} + z_{\alpha/2} \frac{\sigma}{\sqrt{n}}\right) = 1 - \alpha$$

母平均 μ が区間 $(\bar{X} - z_{\alpha/2} \frac{\sigma}{\sqrt{n}}, \bar{X} + z_{\alpha/2} \frac{\sigma}{\sqrt{n}})$ に含まれる確率は $1 - \alpha$ である。

推定量 \bar{X} をその推定値 \bar{x} で置き換えて，区間 $(\bar{x} - z_{\alpha/2} \frac{\sigma}{\sqrt{n}}, \bar{x} + z_{\alpha/2} \frac{\sigma}{\sqrt{n}})$

\Rightarrow 信頼係数 (信頼度) $1 - \alpha$ の母平均 μ の信頼区間という。

$\bar{x} - z_{\alpha/2} \frac{\sigma}{\sqrt{n}} \Rightarrow$ 信頼区間の下限

$\bar{x} + z_{\alpha/2} \frac{\sigma}{\sqrt{n}} \Rightarrow$ 信頼区間の上限と呼ぶ。

ただし， $\bar{x} = \frac{1}{n} \sum_{i=1}^n x_i$ とする。

例題 7.1 (P.114) : 正規母集団 $N(\mu, 2^2)$ から大きさ 16 の標本をとって標本平均を計算したところ, $\bar{x} = 3.2$ であった。信頼係数 0.95 の μ の信頼区間は?

解答: $Z \sim N(0, 1)$, $\alpha = 0.05$ のとき,

$P(|Z| > z_{\alpha/2}) = 1 - \alpha$ となるので, $z_{\alpha/2} = 1.96$ である。

$$n = 16$$

信頼係数 $1 - \alpha$ の μ の信頼区間は $(\bar{x} - z_{\alpha/2} \frac{\sigma}{\sqrt{n}}, \bar{x} + z_{\alpha/2} \frac{\sigma}{\sqrt{n}})$ なので,

$$(3.2 - 1.96 \frac{2}{\sqrt{16}}, 3.2 + 1.96 \frac{2}{\sqrt{16}}),$$

すなわち, 信頼係数 0.95 の μ の信頼区間は (2.22, 4.18) である。

問題 7.1 (P.122) : すべての $i = 1, 2, \dots, n$ について , $X_i \sim N(\mu, 3^2)$

標本の大きさ $n = 25$

標本平均 $\bar{x} = 8.2$

信頼係数 **0.9, 0.95** の μ の信頼区間は ?

解答 : $Z \sim N(0, 1)$, $\alpha = 0.05$ のとき ,

$P(|Z| > z_{\alpha/2}) = 1 - \alpha$ となるので , $z_{\alpha/2} = 1.96$ である。 $\alpha = 0.10$ のとき ,

$z_{\alpha/2} = 1.645$ である。

信頼係数 $1 - \alpha$ の μ の信頼区間は $(\bar{x} - z_{\alpha/2} \frac{\sigma}{\sqrt{n}}, \bar{x} + z_{\alpha/2} \frac{\sigma}{\sqrt{n}})$ なので ,

信頼係数 **0.95** の μ の信頼区間は

$$\left(8.2 - 1.96 \frac{3}{\sqrt{25}}, 8.2 + 1.96 \frac{3}{\sqrt{25}}\right),$$

すなわち, **(7.024, 9.376)** である。

信頼係数 **0.90** の μ の信頼区間は

$$\left(8.2 - 1.645 \frac{3}{\sqrt{25}}, 8.2 + 1.645 \frac{3}{\sqrt{25}}\right),$$

すなわち, **(7.213, 9.187)** である。

7.3.2 平均の区間推定 (正規母集団, 母分散が未知, P.115)

母分散 σ^2 が未知と仮定する。

⇒ σ^2 を推定する必要あり。

⇒ t 分布の利用

大きさ n の無作為標本 X_1, X_2, \dots, X_n

すべての $i = 1, 2, \dots, n$ について, $X_i \sim N(\mu, \sigma^2)$, しかも, 互いに独立と仮定する。

このとき,

$$Z = \frac{\bar{X} - \mu}{\sigma / \sqrt{n}} \sim N(0, 1)$$

となる。

σ^2 をその推定量 S^2 で置き換えると ,

$$T = \frac{\bar{X} - \mu}{S / \sqrt{n}} \sim t(n-1)$$

となる。(定理 6.5 , P.97)

t 分布表 (P.253) から , n と α を与えたもとで ,

$$P(|T| < t_{\alpha/2}(n-1)) = 1 - \alpha$$

となる $t_{\alpha/2}(n-1)$ の値を見つける。

例 :

$n = 11, \alpha = 0.05$ のとき ,

$P(|T| < 2.228) = 0.95$ により , $t_{\alpha/2}(10) = 2.228$

$$P(|T| < t_{\alpha/2}(n-1)) = 1 - \alpha$$

$$P\left(\left|\frac{\bar{X} - \mu}{S/\sqrt{n}}\right| < t_{\alpha/2}(n-1)\right) = 1 - \alpha$$

$$P(\bar{X} - t_{\alpha/2}(n-1)\frac{S}{\sqrt{n}} < \mu < \bar{X} + t_{\alpha/2}(n-1)\frac{S}{\sqrt{n}}) = 1 - \alpha$$

母平均 μ が区間

$(\bar{X} - t_{\alpha/2}(n-1)\frac{S}{\sqrt{n}}, \bar{X} + t_{\alpha/2}(n-1)\frac{S}{\sqrt{n}})$ に含まれる確率は $1 - \alpha$ である。

推定量 \bar{X}, S^2 をその推定値 \bar{x}, s^2 で置き換えて , 区間

$$\left(\bar{x} - t_{\alpha/2}(n-1) \frac{s}{\sqrt{n}}, \bar{x} + t_{\alpha/2}(n-1) \frac{s}{\sqrt{n}}\right)$$

⇒ 信頼係数 (信頼度) $1 - \alpha$ の母平均 μ の信頼区間 (母分散未知の場合) という。

$$\bar{x} - t_{\alpha/2}(n-1) \frac{s}{\sqrt{n}} \Rightarrow \text{信頼区間の下限}$$

$$\bar{x} + t_{\alpha/2}(n-1) \frac{s}{\sqrt{n}} \Rightarrow \text{信頼区間の上限と呼ぶ。}$$

$$\text{ただし, } \bar{x} = \frac{1}{n} \sum_{i=1}^n x_i, s^2 = \frac{1}{n-1} \sum_{i=1}^n (x_i - \bar{x})^2 \text{ とする。}$$

例題 7.2 (P.116) : 正規母集団 $N(\mu, \sigma^2)$ から大きさ 9 の標本をとって標本平均と標本標準偏差を計算した。 $\bar{x} = 3.2, s = 2.1$ であった。信頼係数 0.95 の μ の信頼区間は？

解答： $n = 9, \alpha = 0.05$ のとき，

$$P\left(\left|\frac{\bar{X} - \mu}{S/\sqrt{n}}\right| < t_{\alpha/2}(n-1)\right) = 1 - \alpha$$

となるのは， $t_{\alpha/2}(n-1) = 2.306$ である。

信頼係数 $1 - \alpha$ の μ の信頼区間は，

$$\left(\bar{x} - t_{\alpha/2}(n-1)\frac{s}{\sqrt{n}}, \bar{x} + t_{\alpha/2}(n-1)\frac{s}{\sqrt{n}}\right)$$

となるので，

$$\left(3.2 - 2.306\frac{2.1}{\sqrt{9}}, 3.2 + 2.306\frac{2.1}{\sqrt{9}}\right)$$

を得る。